



労基署便り

令和2年度 No.1

大河原労働基準監督署



令和元年労働災害発生状況（確定）

	大河原署管内			宮城局管内		
	平成30年	令和元年	前年比	平成30年	令和元年	前年比
製造業 計	63	60 (1)	-3	502 (4)	465 (1)	-37
食料品製造業	22	17	-5	224	223	-1
機械金属製造業	24	27 (1)	3	133 (4)	121 (1)	-12
建設業 計	24	27 (1)	3	336 (7)	352 (7)	16
土木工事業	13	12 (1)	-1	123 (2)	111 (4)	-12
建築工事業	8	14	6	156 (3)	191 (3)	35
その他の建設	3	1	-2	57 (2)	50	-7
運輸交通業 計	11	8	-3	377 (4)	386 (2)	9
陸上貨物運送業	11	8	-3	350 (5)	349 (2)	-1
商業	28	26	-2	467 (2)	436	-31
全産業	194 (1)	182 (2)	-12	2589 (23)	2432 (17)	-157

休業4日以上之死傷労働災害（労働者死傷病報告による）。前年比は死傷者数。（人）

（ ）は内数で死亡者数 機械金属製造業は、鉄鋼業・金属製品・一般機械・電気機械・輸送機械製造業の合計。

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策は十分ですか

厚生労働省では、職場において新型コロナウイルスの感染拡大を防止するための基本的な実施事項をチェックリストにしてホームページに公開しています。（「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」です。）このチェックリストをぜひご活用いただき、事業場内における新型コロナウイルスの感染拡大防止対策について確認し、必要な改善をお願いいたします。詳しくは以下の厚生労働省ホームページをご参照ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000617721.pdf>

「ゼロ災トライアル100」参加募集のお知らせ

今年度も当署と（公社）宮城労働基準協会大河原支部との共催で、「ゼロ災トライアル100」を実施します。令和2年6月1日（月）から令和2年9月8日（火）の100日間です。労働災害防止には労使一体となった取組が不可欠です。ぜひエントリーしていただき、これを機会に経営トップの安全衛生に対する方針の表明、安全衛生管理体制の整備、安全衛生パトロールの実施など各種安全衛生管理活動を行い労働者の安全衛生に対する意識の向上を図っていただきたいと思います。詳しくは、以下の宮城労働基準協会大河原支部ホームページをご覧ください。

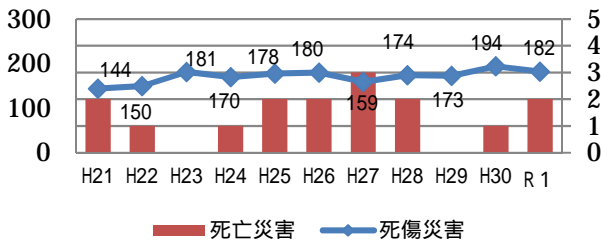
<http://www.rouki.or.jp/oogawara/documents/20200601zerosaizissi.pdf>

令和元年の労働災害発生状況（全産業）について

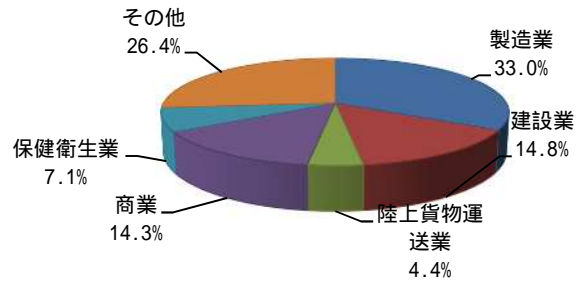
令和元年における労働災害（休業4日以上）は182件で、前年と比べ12件（6.2%）減少し、死亡災害は前年より1件増加して2件となりました。事故の型では転倒災害、墜落・転落災害、はさまれ・巻き込まれ災害が多い状況となりました。発生原因では、設備の安全対策の不備や作業手順の周知不徹底、労働者への教育が浸透していない状況が見られました。新年度が始まったこの機会に、事業場の安全管理体制、設備の安全対策、教育の実施状況などを確認いただき、職場の安全管理体制の充足を図ってください。

以下は、大河原労働基準監督署管内の令和元年の労働災害（休業4日以上）について、まとめたものです。

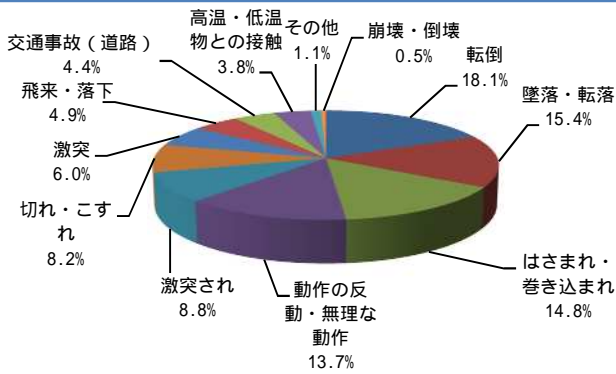
労働災害の推移



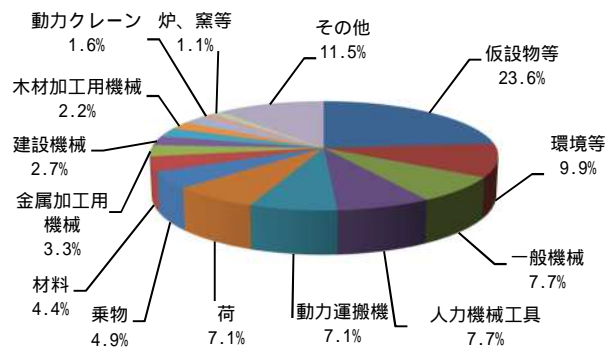
業種別労働災害発生状況



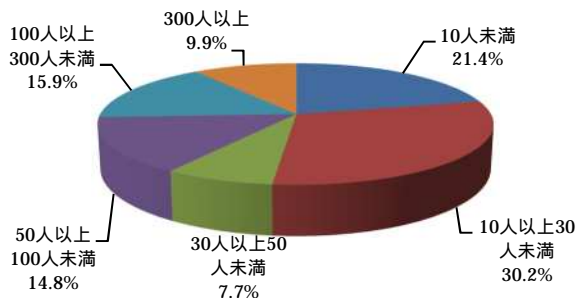
事故の型別



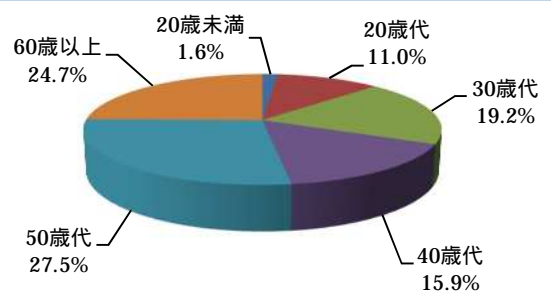
起因物別



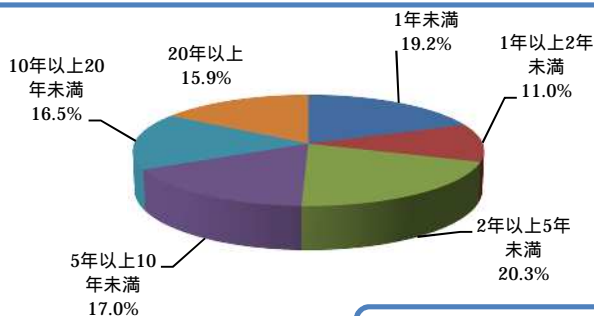
事業場規模別



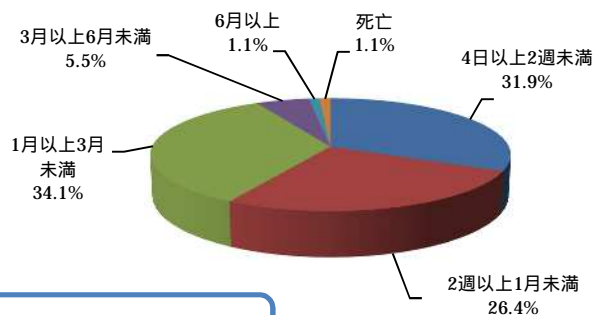
年齢別



経験年数別



被災程度別



発生時間別の状況



発行：大河原労働基準監督署（TEL0224-53-2154）柴田郡大河原町字新東 24-25

労働条件や安全衛生の確保・改善、労災補償等についてご不明な点やお悩みのことがあれば、お気軽にご相談ください。